



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平和
 コード番号 6412 URL <https://www.heiwanet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 小祝 隆 TEL 03-3839-0701
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	76,109	△33.4	1,853	△91.9	2,388	△89.4	△2,528	—
2020年3月期第3四半期	114,334	2.6	22,805	△12.3	22,590	△12.4	15,296	△9.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,977百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 15,417百万円 (△7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△25.63	—
2020年3月期第3四半期	155.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	420,268	222,703	53.0	2,257.87
2020年3月期	436,762	232,575	53.2	2,357.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 222,703百万円 2020年3月期 232,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,400	△26.4	3,300	△86.0	3,800	△83.7	△1,200	—	△12.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、通期連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	99,809,060株	2020年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,174,737株	2020年3月期	1,172,599株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	98,635,790株	2020年3月期3Q	98,638,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化したものの、経済活動の再開により一時は回復傾向にありました。しかしながら、足元では国内外で感染が再拡大し、経済活動の回復ペースが鈍化しております。先行きにつきましても、感染の再拡大に伴い企業収益の減少や個人消費の低迷など不確実な状況が継続することが予想されます。

遊技機業界におきましては、2020年6月以降からパチンコホールの稼働状況が徐々に回復をみせたものの、未だコロナ禍以前の水準までは回復しておらず、加えて、足元では感染が再拡大していることもあり、どの程度の影響を及ぼすか先行き不透明な点が多いため、より一層業界の先行きに警戒感を強めております。このような中、2020年5月20日に施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則」により、旧規則機の経過措置期間が1年延長されたことで、新規機種の購入を控える動きが顕著となりました。

ゴルフ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、来場者が第1四半期には大きく落ち込んだものの、春先からの外出自粛による反動需要や天候に恵まれたこともあり、第2四半期以降は回復傾向にあります。しかしながら、感染症の収束には未だ遠く、引き続き感染防止策を徹底し、新しい生活様式に適応した事業運営に取り組む必要があります。

このような環境下、遊技機事業におきましては、「ヒット機種を創出する商品開発」、「販売台数の最大化・ブランド力の向上」及び「コスト・利益管理の更なる徹底」を、ゴルフ事業におきましては、「商品価値の向上」、「経営イノベーションの具現化」及び「M&Aの継続」を基本方針とし、各施策を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高76,109百万円（前年同期比33.4%減）、営業利益1,853百万円（前年同期比91.9%減）、経常利益2,388百万円（前年同期比89.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失2,528百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益15,296百万円）となりました。

なお、第1四半期に当社連結子会社であるパシフィックゴルフマネージメント㈱が河川敷で運営するゴルフ場「川越グリーンクロス」のゴルフ場用地について、国土交通省関東地方整備局の「荒川第二・三調節池事業」の進捗状況等を踏まえ事業を再評価した結果、当該資産を減額しており、当該減少額3,008百万円を、また、第3四半期には「シルクカントリー倶楽部」の譲渡に関する基本合意契約を締結したことにより720百万円を、それぞれ減損損失として特別損失に計上いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきましては、パチンコ機は「ルパン三世～復活のママ～」、「戦国乙女6～暁の関ヶ原～」等を発売し、販売台数37千台（前年同期比25千台減）、パチスロ機は「パチスロ対魔導学園35試験小隊」等を発売し、販売台数4千台（前年同期比56千台減）となりました。

売上高及び利益面につきましては、販売台数の減少により前年同期を大幅に下回ることとなりました。

以上の結果、売上高18,263百万円（前年同期比61.6%減）、営業損失3,999百万円（前年同期は営業利益14,075百万円）となりました。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、2020年10月に「石岡ゴルフ倶楽部」、「南市原ゴルフクラブ」、「武蔵ゴルフクラブ」、「きみさらずゴルフリンクス」の計4ゴルフ場を取得する株式譲渡契約を締結し、同年12月より運営を開始いたしました。

売上高及び利益面につきましては、数年続いた大きな台風被害が今期は発生しなかったことや、第2、3四半期における来場者の大幅な回復があったものの、第1四半期における業績の落ち込みを補うまでには至らず、またゴルフプレーヤーの行動変容に伴うコンペの減少などにより顧客単価が低下したこともあり前年同期を大幅に下回ることとなりました。

以上の結果、売上高57,845百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益7,864百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ16,493百万円減少し、420,268百万円となりました。流動資産のその他が3,685百万円、土地が3,389百万円増加する一方、有価証券が16,532百万円、現金及び預金が8,549百万円、受取手形及び売掛金が2,878百万円減少しております。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ6,621百万円減少し、197,565百万円となりました。未払法人税等が2,756百万円、流動負債の引当金が2,192百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が1,534百万円減少しております。

(純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失を2,528百万円計上したこと、また剰余金の配当により利益剰余金が7,890百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より9,872百万円減少し、222,703百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.2%から53.0%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月21日に公表した2021年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月9日)別途開示いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,208	27,659
受取手形及び売掛金	12,489	9,610
電子記録債権	1,151	1,248
有価証券	47,087	30,555
商品及び製品	1,982	3,413
原材料及び貯蔵品	5,464	7,205
その他	9,543	13,229
貸倒引当金	△341	△315
流動資産合計	113,587	92,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,754	65,337
土地	208,567	211,957
その他(純額)	14,677	14,505
有形固定資産合計	287,998	291,799
無形固定資産		
のれん	4,685	5,345
その他	4,529	4,500
無形固定資産合計	9,214	9,846
投資その他の資産		
投資有価証券	12,689	11,328
その他	13,800	15,213
貸倒引当金	△528	△526
投資その他の資産合計	25,961	26,015
固定資産合計	323,174	327,660
資産合計	436,762	420,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,896	3,747
電子記録債務	7,846	7,090
1年内返済予定の長期借入金	22,078	17,368
未払法人税等	4,069	1,313
引当金	3,344	1,152
その他	13,847	14,918
流動負債合計	56,083	45,589
固定負債		
長期借入金	93,756	96,931
退職給付に係る負債	5,166	5,374
その他	49,181	49,669
固定負債合計	148,103	151,975
負債合計	204,186	197,565

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	54,863	54,863
利益剰余金	162,620	152,200
自己株式	△1,337	△1,341
株主資本合計	232,900	222,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	321
退職給付に係る調整累計額	△166	△96
その他の包括利益累計額合計	△325	225
非支配株主持分	0	—
純資産合計	232,575	222,703
負債純資産合計	436,762	420,268

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	114,334	76,109
売上原価	66,842	56,854
売上総利益	47,491	19,255
販売費及び一般管理費	24,686	17,401
営業利益	22,805	1,853
営業外収益		
受取利息	138	126
受取配当金	39	40
有価証券償還益	—	419
受取保険金	84	204
助成金収入	—	467
売電収入	120	120
その他	258	253
営業外収益合計	642	1,632
営業外費用		
支払利息	314	296
有価証券償還損	—	59
支払手数料	15	341
災害復旧費用	245	80
災害損失引当金繰入額	114	86
その他	168	234
営業外費用合計	857	1,098
経常利益	22,590	2,388
特別利益		
関係会社株式売却益	752	—
特別利益合計	752	—
特別損失		
減損損失	—	3,769
特別損失合計	—	3,769
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,343	△1,381
法人税等	8,046	1,147
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,296	△2,528
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	15,296	△2,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	480
退職給付に係る調整額	48	70
その他の包括利益合計	121	550
四半期包括利益	15,417	△1,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,417	△1,977
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じる方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り<新型コロナウイルス感染症の影響の考え方>)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、最新の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、「徐々に状況は改善するものの、影響は当連結会計年度以降も一定期間続く」仮定に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,542	66,791	114,334	—	114,334
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4	4	△4	—
計	47,542	66,796	114,338	△4	114,334
セグメント利益又は損失(△)	14,075	11,153	25,229	△2,423	22,805

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,423百万円には、セグメント間取引消去5百万円及び配賦不能営業費用△2,428百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,263	57,845	76,109	—	76,109
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	0	0	△0	—
計	18,263	57,845	76,109	△0	76,109
セグメント利益又は損失(△)	△3,999	7,864	3,864	△2,010	1,853

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,010百万円には、セグメント間取引消去4百万円及び配賦不能営業費用△2,015百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、河川敷で運営するゴルフ場について、事業価値を再評価した結果、当該資産に係る帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

また、ゴルフ場資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生じたことに伴い、当該ゴルフ場資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、ゴルフ事業においては原則ゴルフ場別にグルーピングをしており、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,729百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては40百万円であります。